

平成30年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】新課題講習2

※この講習を受講する方はハ-229を受講することができません。

クラスCD	ハ-206	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	30名

講習科目名	心を育てるグループワーク	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	正保 春彦 (しょうぼ はるひこ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>教室内での児童・生徒間の人間関係を形成し、人間理解や自己表現力の発展を促す技法について演習と講義を行います。構成的グループ・エンカウンター(SGE)とインプロ(即興)を軸に、「かかわる」「理解する」「表現する」という新たな活動の枠組みを提案します。主要なエクササイズを10数件体験しながら、まずは受講生自身が楽しむことから出発し、その上で活動の背景にある理論や実施上の注意点等について具体的な解説によって理解することで、総合的な実践力を身につけます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な技法を自ら体験し、エクササイズが児童・生徒に与える影響を理解する。 ・各技法毎の理論的背景や心理的効果の違いを理解し、効果的な実践計画を立案できる。 		
受講者への事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・軽い身体活動を含みます。動きやすい服装でご参加下さい。スカートやハイヒール等は不可とします。 		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習7

※この講習を受講する方はハ-108、ハ-222、ハ-302を受講することができません。

クラスCD	ハ-207	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	55名

講習科目名	現代子ども論	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	生越 達 (おごせ とおる)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>『現代子ども論Ⅰ～現代社会と心の育ち』では、なぜ現代の子どもたちが変わったように見えるのか、社会の変化を理解することを通して、子どもたちの問題行動のなかに隠された意味を考えていきたい。『現代子ども論Ⅱ～子どもたちをどう理解するか』では、子どもたちをどのように理解したらよいのか、具体的な事例を取り上げながら考える。子どもや保護者と向き合う際の態度やスタイルを形成することを目指す。</p> <p>(1)教師にとっての共感性とは何か：社会化と共感の狭間を生きる教師 (2)近代社会を支えてきた教師から自由になれるか (3)存在の不安を抱える子どもたち：教師批判やリストカットから見える子どもの自己 (4)子ども理解のスタイルを学ぶ：子どもを理解する際の盲点について知る (5)他者とかかわることが不安な子どもたち：傷つきやすい子どもたち (6)現代のいじめの特徴：いじめの背後にある同調性 (7)自己形成の困難な子どもたち：子どもたちの関係確認と多元的自己 (8)保護者理解の難しさ (9)認定試験：講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>(1)近代社会を支えてきた教師の役割を知ると同時に、その役割を相対化する眼差しを身につける。 (2)子どもたちの問題行動の裏側に隠された意味を知り、またその意味を捉える子ども理解のスタイルを身につける。 (3)子どもたちの具体的な行動を理解できるようになる。 (4)事例を理解することにより、子どもたちや保護者と向き合う態度やスタイルを形成する。</p>		
受講者への事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習11

クラスCD	ハ-208	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名	公衆衛生	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	瀧澤 利行 (たきざわ としゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>公衆衛生に関する歴史的な流れや現状、人々の健康の保持・増進、疾病予防対策などについて、公衆衛生の基本的考え方、疾病予防と健康管理、職場、学校等における感染症予防、生涯を通じた生活習慣病予防、健康危機管理の理論と方法を中心に、午前・午後を通し、講義する。主な内容は以下の通りである。</p> <p>①公衆衛生の考え方と学校教育 ②国民の健康水準 ③健康管理と疾病予防の原理 ④感染症の予防 ⑤生活習慣病の予防 ⑥学校における健康危機管理</p>		
到達目標	<p>①教職員にとって必要な公衆衛生の基本的な考え方が理解できる。</p> <p>②国民の健康水準にもとづいて、疾病予防と健康管理の課題と方法について理解できる。</p> <p>③学校における健康危機管理の理論と方法を理解できる。</p>		
受講者への事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習12

クラスCD	ハ-209	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	50名

講習科目名AM	子ども虐待の予防と防止	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	数井 みゆき (かずい みゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	3時間
講習内容	<p>児童虐待の処理件数はH28年には12万件を超え、毎年増加の一途をたどっている。45%ほどが就学前に、35%ほどが小学校で発見されている。このような現実には学校現場にもさまざまな影響を与えることとなる。虐待的な養育を受けた子どもの特徴を理解し、その背後にある問題や学校園で行う対応について学ぶ。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待に関して正しい知識を持ち、子どもに対する指導を的確に行えるようになること。 ・学校園全体で児童虐待には対応する必要があることを理解すること。 		
受講者への事前連絡事項	特にないが、児童虐待のニュースなどに関心を払っておいてほしい。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	子どもの貧困問題について考える～いま危機に直面する福祉国家と次世代の再生産	講習の形態	講義・発表
担当講師名(ふりがな)	清山 玲(せいやま れい)	所属	人文社会科学部
主な受講対象者	全教員	担当時間	3時間
講習内容	<p>下記の内容で講義をします。そのうえで教育現場から子どもたちの状況とどのように支えているかなどについて発表し情報交換等を行います。子どもの将来、キャリアを展望しながら、小・中・高の子どもの発達段階に応じた教育や支援のあり方を考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. いま危機に直面する福祉国家と次世代の再生産 2. 親の所得格差と子どもの教育格差～貧困の連鎖と教育～ 3. いま教育現場に求められている変化と子ども支援・キャリア支援 		
到達目標	<p>①見えにくい子どもの貧困問題を社会問題として理解し説明できる。②国や自治体、地域のNPOなど子ども支援政策についての知識を身につける。③学んだことを学校現場に活かして組織として子どもに何がきるかを考え行動できる。</p>		
受講者への事前連絡事項	<p>‘子どもの貧困’というテーマでインターネットや新聞・雑誌記事・NHK等の番組を検索してみてください。阿部彩『子どもの貧困』『子どもの貧困パート2』(岩波新書、820円)、貧困統計HP、「子どもに広がる見えない貧困」(NHKスペシャル20170212放映 オンデマンドで視聴可能)などに事前に目を通していただくと深く理解できると思います。</p>		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習13

クラスCD	ハ-210	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	定員	40名

講習科目名	生と死の教育	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	青柳 路子 (あおやぎ みちこ)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中教諭・高教諭、養護教諭、栄養教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>今日、いじめやそれを苦にした自殺等の問題があり、学校教育でいのちの大切さを取り上げることが必要とされている。そこで本講習では、これまで行われてきた生と死の教育の実践に触れながら、教育において生や死を主題とすることの意義や課題について考察する。また、教師自身が自らの生と死の認識を深めたり再考したりするワークに取り組むことで、教育実践に活かせるようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育における生と死の教育の背景(講義) 2. 子どものいのちの概念の発達と死の捉え方(講義) 3. 生と死の教育の実践の検討(講義・演習) 4. いのちに関わる今日的課題の検討・ワーク(演習) 		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育においていのちの大切さが言及されてきた経緯・背景について理解を深める。 2. 生と死の教育実践から、教育において生と死を取り上げることの意義と課題について考えを深める。 3. いのちに関する今日的課題の検討から、生と死についての自らの認識を深め、再考することができる。 		
受講者への事前連絡事項	いのちに関わる重いテーマを扱うという前提のもと、受講されることを希望します。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習29

クラスCD	ハ-211	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名	地質学で探る地球の歴史	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	岡田 誠 (おかだ まこと)	所 属	理学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科)	担当時間	6時間
講習内容	<p>地球がこれまで経験してきた気候変動などの様々な事象は、全て地層の中に記録されています。本講習では、それらの事象の記録を地層から読み出す方法や、その結果、地球の歴史がどのように解釈されているかについて、日本初のGSSP候補地である千葉セクションにおける研究事例を切り口に学んでいきます。</p> <p>主な授業内容: 1) GSSPと地質時代、2) 地磁気逆転とその復元方法、3) 酸素同位体による古海洋、古気候復元、4) 放射年代による地質時代決定法</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・GSSPの役割が理解できること ・地磁気がどのように地層に記録されるかについて、およそのことがわかること ・海洋酸素同位体の変動メカニズムについてわかること ・放射年代測定の基礎的原理について理解できること 		
受講者への 事前連絡事項	とくに注意事項はありません。		
成績評価の方法	筆記試験 (項目ごとに行う確認テスト)	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新課題講習32

クラスCD	ハ-212	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭	定員	40名

講習科目名AM	土壌が担う役割	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	西澤 智康 (にしざわ ともやす)	所属	農学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科・農業)	担当時間	3時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌の生成、土壌と物質循環、土壌の性質や微生物などの役割とはたらきについて紹介し、土壌が我々の暮らしの中で深く関わっていることを講義する。 ・土壌を用いて、土壌の性質やはたらきを体験する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌が担う役割を説明できる。 ・簡単な化学実験を実施することができる。 		
受講者への事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と共に、簡単な化学実験・観察を行います。 		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

講習科目名PM	乳製品の製造	講習の形態	講義・実験
担当講師名(ふりがな)	宮口 右二 (みやぐち ゆうじ)	所属	農学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(理科・農業)	担当時間	3時間
講習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳を原料とするヨーグルトやチーズは微生物や酵素の力でつくられるが、その際のタンパク質の変化について紹介し、牛乳や乳製品が私たちの食卓で欠かせないことを講義する。 ・牛乳を用いて、乳製品の製造を体験する。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チーズとヨーグルトの違いを説明できる。 ・簡単な化学実験を実施することができる。 		
受講者への事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と共に、簡単な化学実験を行います。 		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。

【選択】新展開講習(図工・美術・工芸コース)2

クラスCD	ニ-210	開講日	8月20日(月)
対象職種	教諭	定員	30名

講習科目名	図画工作科・美術科教育の新展開	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小泉 晋弥 (こいずみ しんや)	所属	教育学部
主な受講対象者	小・中・高教諭(図工・美術・工芸)	担当時間	6時間
講習内容	<p>新学習指導要領が、小学校では平成32年、中学校では平成33年度から実施されるが、平成30年度から移行期措置として、図画工作科、美術科では新指導要領による授業を行ってもよいことになっている。</p> <p>本講習では、新指導要領のポイントを改めて確認し、当該科目における学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力)をどう捉えるべきかを講義する。</p> <p>それを踏まえたうえで、カリキュラム・マネジメントという観点から、教科書の内容を新指導要領の視点から再構成する演習を行う。</p>		
到達目標	<p>新学習指導要領のポイントを理解することができる。</p> <p>学力の3要素や主体的学び、対話的学び、深い学びが図画工作科、美術科でどのように達成されるのかを説明することができる。</p> <p>カリキュラムマネジメントの視点で授業を構築することができる。</p>		
受講者への事前連絡事項	現在使用している図画工作、美術の教科書を持参して受講すること。		
成績評価の方法	筆記試験	認定試験に関して	講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。